

清川中学校

作成日 2025年 2月25日

種別	I C T を活用した授業実践	
学年	中学 1 年生	教科
目標	SKYMENU のポジショニングを利用した生徒 の理解度の把握	数学
		単元
		変化と対応・平面図形

■内容

SKYMENU のポジショニングという機能を用いて、演習問題の際に自身の理解度がどの位置にいるのかを自分自身で選択し、それを生徒と教師が共有し個別指導や教えあいに生かす。

ポジショニングは3分割（できた・自分で考える・助けて）

■授業の進め方

授業開始時に生徒はタブレットで SKYMENU のポジショニングを開く。教員は SKYMENU で「授業中」にする。

問題を解く際に「自分で考える」に移動させる。解き終わったら「できた」に移動させ、どうしてもわからない人は「助けて」に移動させる。時間を決めて、時間になったら「できた」にした人は「助けて」の人に教えに行く。

■児童・生徒の様子

教えに行く際に、誰に行くかを決めるのがわかりやすくなった。全体の様子がわかった。

I C T 利用コンテンツ

ハード	教師用タブレット 生徒用タブレット
ソフト	SKYMENU

実践に対する I C T 支援員との関わり

特になし
